

子どもたちの進路実現を願って

- 進路指導における二つの取り組み -

群馬県立玉村高等学校PTA

1 はじめに

本校では、さまざまなPTA活動が活発に行われている。たとえば、進路に関わる活動、マナーアップ運動、^{あらたまさい}璞玉祭(玉村高校の文化祭)参加、マラソン大会での豚汁作り及びコース監察、PTA新聞の発行、文化研修、スポーツ研修などである。それぞれの活動をより充実したものにするため、年間に6回の本部役員会を開いている。また、本部役員会だけではなく、各委員会(進路・生活・広報・研修)が必要に応じて開催される。それぞれの活動は、子どもたちの学校生活をより豊かにしたいという強い願いのもと行われている。ここでは紙面の都合上、進路に関するPTAの取り組みについてのみ報告したい。

2 進路指導における二つの取り組み

(1)進路模擬面接

10年以上前からPTAが取り組んでいる事業で、毎年9月上旬に3年生の就職希望者を対象に実施している。今年度は、就職希望者だけではなく、県立産業技術専門校を志望している生徒も対象にし、保護者13名が協力して15名の生徒に模擬面接を行った。実際にどのように行われているかを簡単に説明する。

全体打ち合わせ

模擬面接を始める前に校長先生はじめ、進路指導主事の先生、学年の先生方を交えて簡単な打ち合わせを行う。ここで、保護者の分担、生徒の流れ、質問事項、面接評価票の記入の仕方などが確認される。打ち合わせ終了後、担当ごと(受付係・面接係)に分かれ、所定の場所に移動する。

受付

生徒は先生からあらかじめ示されている時刻になると教室



緊張感漂う受付

から受付場所に向かう。受付係は2名で、生徒の服装・礼の仕方・言葉づかい・声の大きさなどを注意深く観察し、細かくチェックする。気付いたことは面接終了後の面接報告会で詳しく報告する。今年度は、面接会場は5つであったが、なるべく本番と同じようにということで、生徒は受付をするまでは自分の面接会場は知らされていない。受付係から指示された後、面接会場に向かい、廊下のいすに座り待機する。

模擬面接

保護者2名ないし3名が1組になり、生徒一人ずつを面接していく形態で、面接時間は、15分程度である。個人情報保護の視点に基づき、面接官には生徒が受験する企業名は知らされないが、本番の面接に迫れるよう、企業の職種は事前に情報として教えていただいている。また、緊張感を持た



本番さながらの模擬面接

せる意味で、知り合いの子どもに当たらないよ

うに配慮されている。面接は本番さながらに行われ、面接官は、面接評価票に必要事項を記入する。

面接報告会

すべての模擬面接終了後、面接報告会を会議室で行う。実施前の全体打ち合わせの時と同様に、校長先生・進路指導主事の先生・学年の先生に同席していただいている。この報告会

では、生徒一人一人について、受付や面接の様子をできるだけ詳しく説明していく。受け答えの内容はもちろん、あいさつの仕方、面接会場でのドアの開け閉め、目線など細かいところまで報告をしている。また、受付係として、面接官として感じたこと、思ったことを率直に発言し、先生方の指導の参考にして



面接報告会

いただいている。

面接評価票の活用

面接官は、「外面的項目」5観点(服装・頭髪、姿勢など)、「内容の項目」5観点(協調性、意欲など)、計10観点で5段階評価をする。また、この評価票には面接官が気づいたことを簡潔に記入する欄ももうけられている。前述した「面接報告会」で出された一人一人に関する情報をこの面接評価票に書き加えて、担任の先生から生徒にその日のうちに渡していただく。子どもたちは面接評価票を見て、面接を振り返り、自分がどのような評価を受けたかを確認し、自己を客観的に把握することができる。また、先生方もこの評価票を参考にして改善すべき点をていねいに指導してくださっている。

面接評価票

3年 組 生徒氏名

区分	評価のポイント	評価 (○で囲む) 高←5 4 3 2 1→低
外面的 項目	服装・頭髪、身なり等はきちんとしているか。	5 4 3 2 1
	面接室の出入りはよくできているか。	5 4 3 2 1
	礼のしかたはよくできているか。	5 4 3 2 1
	面接時の姿勢は良いか。	5 4 3 2 1
	リラックスできていたか(評価高い) それとも緊張していたか(評価低い)。	5 4 3 2 1
内容の 項目	人柄が明るく、ハキハキした答えが返ってきたか。	5 4 3 2 1
	敬語など使えるか、ていねいな話し方ができているか。	5 4 3 2 1
	協調性があると感じられたか。	5 4 3 2 1
	会社の事業内容や職種についての理解はできているか。	5 4 3 2 1
	働く意欲が感じられるか?	5 4 3 2 1
その他気がついた点等(メモ書きで)		

(2) 玉高ライムライトアワー

1年生の「総合的な学習の時間」という授業の中で、7年前から保護者が講師として協力している。「ライムライト」とは、電球が普及する以前に舞台のスポットライトとして用いられた照明器具である。玉村高校では、生徒一人一人を舞台の主人公としてとらえ、その活動に光(ライムライト)を当てようと「総合的な学習の時間」を「玉高ライムライトアワー」と名付けた。生徒は20人程度に分かれ、適度の緊張感を保ちながら静かに保護者の講演を聴くことができた。6月16日(月)には「社会が高校生に求めること」、6月30日(月)には「家庭が高校生に求めること」という演題で、それぞれ4名の保護者が講演を行った。この授業では、「卒業後の進路選択に向けて、自ら考えて行動できる姿勢を育む」ことをねらいとしている。講演内容は次のとおりである。

「社会が高校生に求めること」の講演内容

- ・学生と社会人の違い
- ・社会人としての心構え
- ・仕事の厳しさや楽しさ など

「家庭が高校生に求めること」の講演内容

- ・父親や母親としての苦労と喜び
- ・親として子どもに望むこと
- ・仕事と子育ての両立 など



社会が高校生に求めること

3 アンケート・感想文から - 成果と課題にかえて -

進路模擬面接と玉高ライムライトアワーの実践による成果と課題については、主にそれぞれのアンケート結果や感想等を紹介することによって示したい。

(1) 進路模擬面接

面接を受けた子どもに行ったアンケートから感想をいくつか挙げる。

- ・初対面の人だったので、緊張感がいつもと違って勉強になった。
- ・実際に働いている人の目は厳しく、また、違った緊張感があって力がついた。
- ・先生とは違い、生徒を見る目が厳しかった。
- ・本当の面接官のようだった。 など

感想文を読むと、子どもたちがこの模擬面接の意義を十分に理解し、役立てていることがよくわかる。子どもたちが書いてくれた感想は、私たちの励みにもなっている。

夏休みに校長先生はじめ諸先生方からていねいな面接指導が繰り返されるが、先生の視点ではなく、保護者の視点、そして社会人の視点で面接をしている。そこにこの保護者による模擬面接の大きな意義があると考え、この模擬面接を今後も継続し、さらに大きな成果が上がるよう取り組んでいきたい。

全体報告会の終了後に保護者にもアンケートを実施した。「進路実現のために日ごろ家庭で子どもにどのような指導が必要ですか」という質問をしたところ以下のような答えが目立った。

- ・あいさつ
- ・言葉づかい
- ・身だしなみ
- ・一般常識
- ・コミュニケーション能力

これらのことは、子どもの進路実現にももちろん必要であるが、それだけでなく、高校生活やこれから社会の中で生きていく上で不可欠なことであろう。私たち親が子どものためにできること、しな

ければならないことがたくさんあると感じた。面接官をしてくださった方が実感したことを今後いろいろな場面で他の保護者に伝え、家庭でのより良い教育に役立てていきたい。

(2) 玉高ライムライトアワー

講演終了後、生徒が感想文を書いてくれた。その一部を紹介したい。

- ・あいさつやコミュニケーションの大切さがわかった。
- ・社会に出るためには、たくさんの努力と情報が必要だと思った。
- ・希望している職種に就けるかどうか心配だったが、自信がわいてきた。
- ・自分の夢をあきらめず、がんばりたい。

右の写真は、講演直後子どもたち一人一人が、講演の要旨をそれぞれ一文で簡潔に黒板にまとめたものである。的確な表現から、関心をもって話を聴いていたことがうかがえる。「社会が高校生に求めること」では社会人としての視点で、「家庭が高校生に求めること」では父親あるいは母親の視点で話をした



黒板でのまとめ

わけであるが、どちらの講演も子どもたちにとって新鮮

であったようである。説得力のある講演を聴くことによって、自分を見つめ直し、進路について真剣に考えることができたようだ。

4 おわりに

以上報告した二つの取り組みから強く感じていることは、保護者が学校で子どもたちとかかわっていくことが、子どもたちにとってたいへん良い刺激になっているということである。また、学校全体の活性化にもつながっているように思われる。私たち保護者の積極的な活動が今後ますます重要になってくるに違いない。玉村高校は、昨年度から3年間、文部科学省の「キャリア教育の在り方に関する調査研究」の指定を受けている。また、来年度から県の「ぐんまチャレンジハイスクール」の指定を受け、大きく躍進しようとしている。PTAとして何ができるかを考え、先生方と連携を密にして子どもたちのためにこれからも活動を続けていきたい。